

「環境経営報告書2011」をお読みいただく皆様へ

編集方針

理想科学は2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。

2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしております。

今年版では、理想科学のことを初めてお知りになる方にも当社の活動の概要をご理解いただけるように、主要製品の特徴と活躍の場を簡潔にまとめた「印刷業務の効率化と環境負荷低減を両立する理想科学の製品」を新設したほか、開発、生産、物流など企業活動の流れに沿って、環境保全活動をご紹介します。また、できるだけシンプルな記載に努め、CO₂排出量やリサイクル関連などの暦年データは、後半の「データ編」にまとめました。より詳細なデータについては、ホームページ(<http://www.riso.co.jp/>)に掲載の「データブック」をご覧ください。

例年と同様、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作いたしました。

報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖縄株式会社の全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。

海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料(社有車燃料を含む)、水の使用量についても一部対象範囲としています。

※対象範囲の詳細はデータ編に記載しています。

報告対象期間

2010年4月1日から2011年3月31日まで。

ただし、この期間以前もしくは以降の活動内容も一部含まれます。

発行年月

2011年8月 ※次回発行は2012年7月を予定しています。



← このマークは…

記事の内容と関連するデータが「データ編」にあることをご案内するものです。「データ編」では、データと関連する記事がどのページにあるかをご案内しています。

会社概要(2011年3月31日現在)

社名	理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)
創業	1946年(昭和21年)9月2日
会社設立	1955年(昭和30年)1月25日
本社	東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル
資本金	14,114百万円
連結業績	売上高 768億9千7百万円 当期純利益 62億8千8百万円 (平成23年3月期)
従業員数	3,101名(グループ全体)
連結子会社	26社(国内5社、海外21社)

理想科学の環境保全活動の歩み

2000年	筑波事業所がISO14001認証取得
2001年	宇部事業所がISO14001認証取得
2002年	環境推進会議を設置。全社としての環境課題を審議
2004年	環境報告書を発行
2005年	国内営業本部5事業所がISO14001認証取得
2006年	国内全事業所でISO14001統合認証を取得 全社環境目的・環境目標を設定

CONTENTS

ごあいさつ	2
理想科学の環境方針	3
印刷業務の効率化と環境負荷低減を両立する 理想科学の製品	4
環境保全活動	
企業活動を通じた環境保全	6
企画・開発・設計	8
調達・生産	10
物流	12
営業・サービス・コミュニケーション活動	14
回収・リユース&リサイクル	16
推進体制/継続的な改善に向けた取り組み	18
環境目標と実績	20
社会とのかかわり	
お客様とのかかわり	22
株主・投資家とのかかわり	23
社員とのかかわり	24
サプライヤーとのかかわり	26
地域・社会とのかかわり	27
経営体制	28
データ編	
環境負荷の全体像	30
環境/社会関連データ	32
環境会計	34
海外事業所の環境負荷	35
会社データ	36
第三者審査	37

表紙の言葉



「種/つくばね」

自然は自己修復性を持っており、ある程度の回復は可能である。その一つが「種」であり、持続可能な循環型社会実現の象徴と考えました。表紙の種は「つくばね」。本州を中心に分布するビャクダン科の落葉低木であり、羽根つきの羽根のような形状が魅力的である。自然が持っている「美しさと優しさ」が表現できたと思っています。

新村 則人